



しろしたこうさく

城下広作県政報告誌

2022年 11月発行

県民の身近な代弁者

県民の身近な代弁者

熊本県議員



熊本市第1選挙区選出
(中央区・東区・北区)

熊本県議会

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
Tel.096-333-2645/Fax.096-385-9767

第102号

ご挨拶



初霜の候、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。いよいよ、今年もあとひと月余りで令和4年が終わろうとしています。今年2月にロシアがウクライナに侵略し世界は混乱の渦に巻き込まれました。その影響はわが国でも、燃油を始めとした物価の高騰により、日々の生活に重くのしかかりました。今こそ政治は国民生活を守り、また、戦争を絶対起こさない、起こさせない努力が必要です。

私も、暮らしを守る政策を訴え、平和を断固守る国であるよう頑張る所存です。ご指導、ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

県議会議員(会派公明党) 城下広作



城下広作のホームページ

熊本地震・仮設の入居状況

建設型 仮設住宅	8戸 (21人)
借り上げ型 みなし仮設	2戸 (4人)

11月13日現在

熊本豪雨

仮設の 入居状況	建設型 仮設住宅	420戸 (947人)
	借り上げ型 みなし仮設	259戸 (565人)
	公営住宅 など	79戸 (139人)

11月13日現在

9月から11月にかけての主な活動! やるべきことは山ほどあります!!



9月22日、球磨川に架かる錦町の陥没した橋梁の視察



10月10日、県選出国会議員との要望懇談会



10月18日、鹿児島県甕島に架かる甕大橋の視察



10月21日、県とフタバ九州(株)との災害協定式



10月22日、天草幹線道路早期完成島民集会



10月22日、中九州横断道路(大津西～合志)中心杭打ち式



10月27日、鹿児島・熊本・長崎3県架橋、斉藤国交大臣への陳情



11月4日、南九州観光議員連盟の県役員として参加。人吉市での開催



11月8～10日、石川・富山県視察、石川県立図書館など視察

PROFILE 城下広作プロフィール

●昭和34年4月8日生まれ ●熊本県天草市魚貫町出身 ●1978年県立牛深高等学校卒 ●1979年九州測量専門学校卒業 ●測量士・温泉入浴指導員 ●1999年 県議会初当選。連続6期当選 ●公明党 熊本県本部代表 ●議会運営委員会 ●県 元監査委員 ●熊本県立牛深高等学校同窓会顧問 ●九州測量専門学校顧問 ●熊本県行政書士政治連盟顧問 ●熊本県土地家屋調査士政治連盟顧問 ●熊本県環境整備事業協同組合盟顧問 ●熊本県清掃事業協同組合顧問

●ホットライン《お気軽にご相談ください。》

県議会/096(333)2645・FAX096(385)9767・携帯電話/090-8661-7722

●ホームページ <http://www.shiroshita-kousaku.net/> ●メール info@shiroshita-kousaku.net



1. 熊本地震復興検証

- ① 誰一人取り残さない支援
- ② 県民が慰霊できる場所の設置
- ③ 熊本城の早期復興に向けた支援

質問

熊本地震から6年目の節目に、県民が創造的復興を実感できているか等について、暮らし、命、未来の3つをテーマに公明党が調査した。そこで、暮らし、命、未来の各提案、要望をどのように受け止めているのか、知事に尋ねる。

答弁(知事)

- ① 住まいの再建にめどが付き、グループ補助金による支援等により復旧復興は着実に進んでいる。
- ② 来年オープン予定の南阿蘇村の体験・展示施設や県防災センターの整備を進める中で検討してまいります。
- ③ 石垣の調査や修復等の支援を行っている。



2. 新型コロナウイルス対策

- ① ワクチンの効果と若い世代の接種率
- ② ワクチン接種の副反応・コロナ罹患後の後遺症への対応
- ③ 社会的弱者に向けたコロナ対策
- ④ これまでのコロナ対策の総括

質問

- ① 県はワクチン接種の効果をどう受け止めているのか、若い世代で接種率が低い状況をどう捉えているのか尋ねる。
- ② ワクチン接種で腕の痛みや高熱等の副反応に苦しむ人もいます。踏み込んだ相談体制を整えるべきと思うが、今後の対応について尋ねる。
- ③ 新型コロナウイルスが蔓延すると障がい者を抱える家庭においては、コロナ対応では大変苦労されている。社会的弱者に向けたコロナ対策にどのように取り組んでいくのか。
- ④ 新型コロナウイルス感染拡大阻止に向けた取組の総括と今後の対応について、知事に尋ねる。

「オミクロン株対応新型コロナワクチン」
県民広域接種センター
インターネット予約受付中

接種期間 令和4年10月12日(水)～令和5年1月末まで(予定)

会場 グランメッセ熊本

対象者 初回接種(1・2回目接種)が完了した18歳以上で、最終接種から5か月以上経過した方(3～5回目接種)

ワクチン モデルナ社ワクチン
(オミクロン株(A.1)と従来株に対応した2価ワクチン)

平日は、夜間接種を実施中!

平日 18:00～21:00 土日・祭日・祝日 12:00～18:00

熊本県

答弁(健康福祉部長)

- ① 若い世代へのきめ細かな情報発信に努めてまいります。
- ② ワクチン接種の副反応・コロナ罹患後の後遺症については、専門の医療機関を受診できる体制を整備、相談窓口も設置している。
- ③ 障がいのある方々の要望を酌み取り、きめ細かな療養支援を行ってまいります。

答弁(知事)

- ④ 県民の健康と生命を守ることを第一に、引き続き全力で取り組んでまいります。

3. TSMC進出

- ① 地元雇用を増やす取組
- ② 台湾関係者の居住地の在り方
- ③ 台湾関係者への日本語学習の支援

質問

- ① JASMの県内就職希望者の採用状況はどうなっているのか。県としては、できるだけ地元採用を強く要望し、新卒学生の採用にも気配りが必要と考えるが、県の取組について尋ねる。
- ② 台湾からの赴任者の居住地への県の関わりと情報について尋ねる。
- ③ 県は台湾関係者の日本語のサポートについてどのような対応を考えているのか。

答弁(商工労働部長)

- ① JASMから地元出身者の採用にしっかり取り組みたいとの意向が示され、地元出身者の優先雇用を継続、拡大してもらうようJASMへの働きかけを重ねてまいります。
- ② 赴任者とその家族が安心して暮らせるようしっかり取り組んでまいります。
- ③ 県では市町村による交流型の日本語教室の開設を支援している。外国籍の児童生徒が在籍する学級への日本語支援員の配置等による支援を検討してまいります。

- ④ 空港アクセス鉄道のルート決定
- ⑤ 県道大津植木線の多車線化
- ⑥ 台湾派遣のメンバー構成及び意義

質問

- ④ 空港アクセス計画は空港までの定時性、速達性、大量輸送性を達成するために進められてきた。三里木ルートは「大量輸送」の柱になっており、空港アクセス鉄道とは密接な関係にあったのではなかったかと思う。



- ⑤ TSMCの操業後は御代志駅に通ずる国道387号までを視野に入れた多車線化が必要と考えるが、今後の計画について知事に尋ねる。
- ⑥ 今後予定されている議会関係、経済団体、空港関係者等の台湾訪問について、訪問メンバーの構成と訪問の意義について、知事に尋ねる。

答弁(知事)

- ④ イベントの際には運動公園のアクセス改善を図らなければならないことには変わりなく、どのような対応ができるのか検討してまいります。
- ⑤ スピード感を持って取り組み、国道387号までの区間については必要な対策を検討してまいります。
- ⑥ 経済団体のトップを中心に幅広い方々とともに訪問する。

4. 防災減災対策

- ① 県民の防災意識を向上させる取組
- ② 新防災センターの活用方法

質問

- ① 市町村は、ハザードマップや個別避難計画等の作成に取り組んでいるが、県は県民の防災意識向上の取組についてどのように考えているのか。
- ② 新防災センターは、防災拠点機能を十分に発揮し、県民に十分理解されるようにすべきと考えるが如何か。

答弁(知事公室長)

- ① ハザードマップ等を活用した住民参加型訓練への支援、高齢者等には防災無線戸別受信機の配付等による防災情報の伝達手段の多重化を進めている。
- ② 展示・学習室は学習伝承機能、災害記録等の収集保存機能、災害対応、オペレーションルームは、平時は防災士や防災ボランティア等、地域の防災リーダー育成の研修室としても活用予定である。



5. 熊本都市圏道路整備

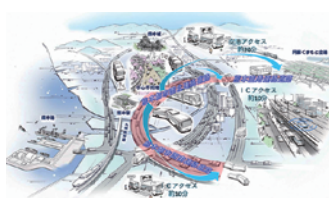
- ① 熊本都市圏3連絡道路の早期実現に向けた決意
- ② 完成までの時間軸

質問

- ① 熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会設立総会が開催された。早期実現に向けた県の決意を伺う。
- ② 国が積極的に関わらないと早期実現は無理がある。今後、国への支援要請について、また、完成は概ね何年を目標にしているのか、知事に尋ねる。

答弁(知事)

- ① 熊本の持続的な発展を見据えた「100年の計」として、リーダーシップを取り、実現に向け強い決意で取り組む。
- ② 関係自治体、経済界等と連携し、スピード感を持って取り組んでまいります。



6. 夜間中学開設

- ① 開設に向けた情報発信と決意
- ② 本県が目指す特徴

質問

- 県は令和6年4月に県立夜間中学校を開校すると決定し準備が進められている。
- ① 今後の情報発信にどのように取り組むのか、開校の準備に向けた決意について尋ねる。
 - ② 県が設置する夜間中学校は、県立としては九州で1番目の設置となる、どのような使命感と特徴を持つようとしているのか。

答弁(教育長)

- ① 令和6年4月の開校に向け、県民や教育関係者等を対象にしたシンポジウムの開催等により、夜間中学への理解が深まるよう取り組んでまいります。
- ② 本県が目指す夜間中学の特徴については誰一人取り残さない理念の下、年齢や国籍等に関係なく学び直すことができ、学ぶ楽しさや喜びが満ちあふれる夢のかけ橋となるよう取り組んでまいります。

7. 人口減少対策

質問

未婚化や晩婚化の進展、夫婦の出生力の低下、さらに若者の結婚観や家族観も変わり、簡単に変化が見られるとは思えない状況である。

答弁(知事)

若い世代が、自らの意思で子供を安心して産み育て子育てに希望を持てる熊本の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

8. 県営住宅の高層化

質問

県営住宅の民間活用や高層階建築への集約により、余った土地の有効活用も考えられると思うが、今後の県営住宅の建て替えについての方針を尋ねる。

答弁(土木部長)

耐用年数を迎える県営住宅入居者の受皿、敷地の有効活用や民間資金の活用等を検討してまいります。

9. 県有土地の有効活用

質問

熊本総合庁舎跡地、熊本土木事務所跡地、旧火の国ハイツは、いずれも好立地にあり、長く使用しなければ維持管理に費用がかかり、無駄につながる。

答弁(総務部長)

最大限の有効活用という視点から慎重な検討を要し、有効活用ができるよう幅広い視点で検討してまいります。

